

釣り好きの加藤さんへ

ラジオネーム：ミートボール

加藤さん、こんにちは。そろそろでも元気になっていますか？

加藤さんの事ならそっちでもアクティブに楽しんでいそうですね。

僕は言いますと、仕事が中々に忙しく、趣味の「釣り」ができていない状況です。

先日、ふと加藤さんの事を思い出して、手紙を書こうと思いました。

そもそも、僕と加藤さんの出会うきっかけは「釣り」でしたね。10年くらい前に釣り場で出会い、初心者であたふたしていた僕に話しかけてくれて、釣りに関して色々な事を教えてくださりましたね。糸の結び方、リールの巻き方、おすすめの道具などあげたらきりがなくくらいにたくさんアドバイスを教わりました。

そして、そんな事を教わっていく内に加藤さんとも意気投合し、かなり仲良くなりましたね。近い釣り場に行ったり、少し遠出をして朝から暗くなるまで釣りをしましたね。本当に楽しかったですよ。

加藤さんと釣りをしながらお喋りをしている時は、僕にとって本当に充実した時間でした。

加藤さんとの思い出は数多くありますが、特に印象的だったのが、ふ頭で朝釣りをしている時でしたかね？

加藤さんに大物がヒット！かなり重そうで、これはなんだろうな……

期待してあげるとそれは「ボロボロのバケツ」。あんな漫画みたいなのが

本当に現実にかきまわること、声を上げて二人で笑いましたね。

また、とても覚えているのが僕が失恋した際です。加藤さんは僕に

「ごアドバイスしてくれましたね。」恋愛ってのはさ、釣りと一緒で、焦らず

じっと待つことも大切なんだ。」そうかっ！良く海を眺めながら言った加藤さ

ん。結局その日は待てど暮らせど、魚は釣れませんでしたね。

加藤さんのそんなちょっと決まらないところも好きでしたよ。

そんな加藤さんが1年前に亡くなり、それを機に僕も釣りに

いくことがなくなってしまいました。でもそんな中でしたが、

先日物置から釣り竿を発見。加藤さんとの思い出が色々蘇りつつ、

また釣りがしたいと思えました。

次の休みにでも行こうかな。何か釣れるといいなあ。

加藤さん、そちらでも釣り楽しんでくださいな。

リクエストはよく、加藤さんが口ずさんでいた曲です。

リクエスト曲

〈POISON〉言いたい事も言えないこんな

世の中は〜／反町隆史